

平成27年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	論理的認識力に焦点をあてた中学校国語科教科書における説明的文章教材の分類と系統化												
プロジェクト期間	平成27年度												
申請代表者 (所属講座等)	青山 之典 (教職実践講座)	共同研究者 (所属講座等)	なし										
取組方法・取組実績の概要	<p>上記プロジェクトの取組方法・取組実績の概要は次の通りである。</p> <p>1) 現行中学校国語科教科書のすべて (東京書籍, 光村図書, 学校図書, 教育出版, 三省堂) に所収されている説明的文章の一覧を作成した。</p> <p>2) すべての教材文のマクロ構造に注目して分析を進め, それぞれの論理の型を明らかにした。</p> <p>3) 2) の研究をふまえて, 説明的文章教材の難易度を決める構造的な要因を検討した。</p> <p>4) ここまでの研究をまとめ, 全国大学国語教育学会 (西東京大会) で発表し, 説明的文章教材の構造的な難易度を決める要因として, 階層構造があるという示唆を得た。</p> <p>5) 続く研究のテーマを「説明的文章教材の難易度を決める要因」とし, 階層構造に焦点を当てた検討を進めることにして, 科学研究費補助金の基盤研究 (C) に応募し, 採用された。</p> <p>当初の計画では, ミクロ構造にも焦点を当てる予定であったが, マクロ構造についての検討にさらに時間をかけた方が分かることが多いと判断し, 敢えてミクロ構造に対する焦点づけをやめたが, 深まりのある成果を得ることができ, 学会発表においても多くの示唆を得ることができた。</p>												
研究成果の概要	<p>森田 (1984) は読む行為を「諸能力が総合的に機能する」ものにとらえ, 教材の構造の難易度によって能力面の系統を保障するスパイラルカリキュラムを提案している※1。ただし, この提案を実現するには, 次の二つの課題がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 読む行為を実現する基本的な能力群を明らかにすること。</p> <p>② 教材文の難易度を決める構造的な要因を明らかにすること。</p> </div> <p>説明的文章の読解指導においては, 「論理」に注目することが多くの研究者によって支持されてきた。そこで筆者は, 文章のコンテキストに注目しつつ「論理」を手がかりにして意味内容を形成し, 自らの認識を再構成していく能力群を構造化し, 読む行為を実現する基本的な能力「論理的認識力」として設定した。本研究では, 論理的認識力を基本的な能力としたときの説明的文章教材の難易度を決める構造的な要因について検討した。その結果, 教材文のマクロ構造に見られる「論理の型」によって次のように意味内容形成の難易度が左右されることが示唆された。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">(原因-結果)型</td> <td style="text-align: right;">易</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">原因-結果型</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">根拠-主張 (論証) 型</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">根拠-主張 (経験・見聞) 型</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">根拠-仮説形成型</td> <td style="text-align: right;">難</td> </tr> </table> </div> <p>※1 森田信義 (1984) 『認識主体を育てる説明的文章の指導』 溪水社</p>			(原因-結果)型	易	原因-結果型		根拠-主張 (論証) 型		根拠-主張 (経験・見聞) 型	↓	根拠-仮説形成型	難
(原因-結果)型	易												
原因-結果型													
根拠-主張 (論証) 型													
根拠-主張 (経験・見聞) 型	↓												
根拠-仮説形成型	難												
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について [<input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック願います。]													
外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 ((国内) ・ 国外) : 全国大学国語教育学会で発表 <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等 : <input type="checkbox"/> その他 :										